

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第207号	
事故等種類	衝突（かき筏）	
発生日時	平成21年7月25日（土） 21時35分ごろ	
発生場所	広島県広島市西区 広島港草津一文字防波堤南灯台から真方位132° 3,800m付近 （概位 北緯34°19.7′ 東経132°23.1′）	
事故等調査の経過	平成21年7月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 モーターボート のぞみ丸、4トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 271-37396広島、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船底部擦過傷、プロペラ先端曲損、かき筏1基破損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長が花火見物のため友人等10人を乗せ、広島市佐伯区海老園の係留地を発し、津久根島西方に設置されたかき筏を左方に見て、広島港航路を經由して広島市南区宇品海岸沖で錨泊した。その後、本船は、往航時と同じ経路をたどって帰途につき、広島港第1号灯浮標付近を右転して、出港地点に向首したとき、前路にかき筏があることに気付かず航行し、平成21年7月25日21時35分ごろ、かき筏に衝突した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 南、風力 2、視界 やや不良</p> <p>海象：うねり なし、波高 なし</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>船長は、往航時に航行し、また、豊富な航行経験があったことから、前方にかき筏があったことを知っていたものと考えられる。</p> <p>かき筏には標識灯が点灯していたものと考えられる。</p> <p>本船は、レーダーによる適切な見張りを行わなかったため、前方のかき筏に気付かず航行して衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が広島港草津一文字防波堤南灯台南東方沖を航行中、レーダーによる適切な見張りを行わなかったため、かき筏に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	